

2016年度 事業報告書

2016年 1月 1日から 2016年 12月 31日まで

認定特定非営利活動法人 アジア教育友好協会

1 事業の概況

2016年度は、前年度繰越金61,274千円を引き継ぎ、事業を開始しました。事業資金は期初予算を大幅に上回り、209,335千円となりました。

学校選定を慎重に進め、29校を建設。年度内完成は18校、11校は建設中です。2005年の事業開始以来12年間で累計250校となりました。日本財団助成の建設事業が終了し、助成金の繰越金返済(11,555千円)が生じたが、次期繰越金(期末正味資産)は50,336千円となりました。今後とも事業基盤の強化を図りつつ、事業の継続にも全力を尽す決意です。

ラオスではAEFAプロジェクトとして初めて、パチュドンとドンニャイに高等学校が完成し、小学・中学・高等学校一貫校が完成しました。教育環境の総合的充実を図るプロジェクト・モデルとして推進します。こうした一貫校の推進により、村を纏める求心力・村発展への推進力も高まり、また村同士の融和も進みました。現場の人々と共に必要な支援を考え、自主自立を促し・見守り・共に歩むと言う「AEFAプロジェクト・モデル」が日本の海外学校建設支援モデル、即ちジャパン・スタンダードに発展することを目指し、一層の努力を継続致します。

交流事業は、日本の小中学校とのフレンドシップ交流を中心に展開。出前授業は81回実施し、累計は573回となりました。東京都教育局推薦の出前授業を活発に継続(51回実施)する一方、福島県・静岡県・福井県など地方での出前授業も継続推進しました。

2016年度も、支援者の参加意識(現場への参加や成果の実感)の深化に努めました。その結果、学校建設だけでなく教育の質的向上支援、交流事業への参加など、新しい取組に進化しています。また、こうしたAEFA事業の独自性が評価され、新規支援者や継続支援者も増加し、支援額は記録を大幅に更新しました。

エルセラーン55,340千円、フォーサイト26,180千円、ディアーズ・ブレイン10,382千円、自民党・議員の会7,300千円、など大口リピーターに加え、新規に明電舎10,138千円、高橋直樹8,100千円、森キミエ7,500千円、など多くの個人や企業の支援を獲得出来ました。又、小林宏、内田安子、山崎登喜、近江兄弟社、彦建設など多くの個人・企業・団体が長期支援を継続しています。

尚、会員数は個人会員154名、法人会員11社、会費収入は昨年比265千円増の1,435千円になりました。今後とも、会員、ボランティア会員、AEFAサポーターの輪を広げる努力を続けます。

日本の交流校でも交流が定着し、支援金も大幅に増加しました。日本の生徒たち(52校)からの支援総額6,480千円、12年間累計では20,925千円になりました。学校の国際交流事業への理解が深まっている証となっています。学校からの寄付が集まるNPOは極めて例外的であり、AEFAとしては今後とも教育現場との繋がりを維持・強化していきます。

2 事業の成果

1) 学校建設事業について：事業費＝187,024千円＝29校(内11校は建設中)

本年度もエルセラーンから多額の支援を受け11校を建設。更に新たな支援者・フォーサイトの支援で4校を建設しました。国別では、ベトナム11校、ラオス12校、スリランカ2校となりました。また今年度はタイでの建設が復活して新たに4校の建設が実現。合計29校になりました。

AEFAの活動理念を理解し、共感する支援者が増加するに伴い、ソフト事業の支援強化もできました。ベトナムでの進学支援の奨学金やラオスでの職業訓練校への奨学金の継続に加え、新たにラオスにおける「教員の研修旅行」、ラオガム郡・タオイ郡における子供の権利保護プロジェクト支援、を実施しました。

建設事業はAEFA事業開始以来、順調に進展し、結果として、累計ではベトナム151校、ラオス80校、タイ13校、スリランカ3校、中国2校、ネパール1校、の総合計250校となりました。AEFAとしては、これら既建設校のフォロー事業が次なる課題となっています。

*2016年度建設校一覧・別表(1)

2) 国際交流事業について：事業費＝12,661千円

(1) 日本の学校とのフレンドシップ交流の深化

本年度は37校の学校が活発な交流を行いました。子供たちの交流だけでなく、今年度は、ベトナム・ラオスから生徒・教師・教育局役人・NGO担当を日本に招聘し、日本の教育現場視察・意見交換などを実施しました。

- ① 3月には、神奈川県・鎌倉学園の第二回ベトナム研修ツアー（生徒30名・教師2名）を支援。現地における学校修理ボランティア活動及び子供達との交流を実施。生徒達の意識改革に大変役立ったとの評価を得ました。今後の継続や他校への展開が期待できます。
- ② 6月にベトナムから教師3名・文部省局長・NGO担当など6名を日本に招聘。都内・静岡県袋井市・福井県坂井市などで出前授業などを実施しました。また、ベトナム文部省の教育功労賞をエルセラーンに授与する授与式を大阪にて行い、その後の支援拡大に繋がっています。
- ③ 10月にラオス建設校の生徒・NGOの理事長・事務局長を日本に招聘し、都内・福島県飯舘村・三重県津市などで出前授業を実施するとともに、主要な支援者訪問や今後のAEFA事業の打ち合わせを実施しました。

(2) 国際理解教育への貢献事業

- ① 12月25日：第11回・AEFAフォーラムを新宿区ポプラ社講堂にて開催
6月にベトナムの校長が出前授業を行った港区高輪台小学校、永年に亘りラオスとの交流と支援活動を行い、10月にラオスの生徒を受け入れた三重県津市の高野尾小学校の教師などから、各学校での取り組みの発表が行われました。又、福島県の交流校の児童による交流・出前授業の感想発表のほか、様々な立場の参加者全員がそれぞれの視点からAEFA活動に対するコメントが寄せられ、活動の幅と新たな活動のヒントをいただきました。新規支援候補の参加もあり、参加者は教師・教師OB・AEFA関係者・支援者など合計52名でした。
- ② 本年度も交流事業や出前授業は拡大しました。東京都教育委員会の推薦による出前授業が51回、福島県/11回、福井県/5回、静岡県袋井市/4回、その他/10回など合計81回となり、累計では573回となりました。中でも交流に熱心な教師との出会いは「熱血教師の会」結成への足掛かりと成り始めています。今後はこれらの教師とともに国際理解教育の推進や交流事業の進化を図りたいと思っています。
- ③ 講演会の実施：保護者に対する講演会（複数回）及び、袋井市東京交流会（1月28日）・渋谷区教育委員会（2月17日）・青山サロン熟年の会（11月17日）向け講演、都内のライオンズ・クラブでの講演などを行い、AEFA活動への理解を深めて頂きました。

(3) 教師の養成及び教育の場の質向上支援事業

ラオスにおいて教師養成奨学金支援と教師研修会を継続実施しました。

今年度の教師養成奨学金は25名を対象に支援。2016年10月に8名が卒業し、3名が出身地の僻村に教師として赴任しました。（残り3名は待機中）累計19名の教師が誕生しました。現在20名が教師養成

短大で学んでいます。又、教師のスキルアップ合宿研修会を11月に2回実施し、約90名の教師が参加しました。12月28～30日には、モデル校を視察する「教員研修旅行」も開催しました。

3) 広報活動について

今年度も広報活動を積極的に進め、AEFA会報は2回(22号, 23号)発行しました。また広報活動の一環として、ポプラ社から「奔走老人」を発行するとともに、出版記念会(5月19日)を実施。また7月31日・8月6日には出版記念を兼ねて、千葉県野田市と都内にてそれぞれAEFA支援者の集いを実施。国内の企業・学生・教師へのアピールを図るとともに、結果として新たな支援者の獲得にも繋がりました。

マスコミ対応では引き続き積極的にアプローチしました。「奔走老人」は新聞(朝日・日経・聖教新聞・教育新聞)や雑誌(エルダー・清流)等で掲載され、ラジオでは対談として実現しました。

3 事業の実施に関する事項

当期収入額 209,335千円＝一般寄付他201,506＋日本財団5,000＋会員会費1,435＋他1,394
 当期支出額 208,714千円＝建設事業費187,024＋交流事業費12,661＋管理費9,029
 当期事業収支 621千円・・・(期末正味資産＝50,336千円)

<対事業支出額内訳>

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (単位：千円)
建設事業	<学校建設> ベトナム・ラオス・タイ・スリランカの山岳地域の学校建設及びメンテ <地域自立支援> 学校建設地域の学校維持を主旨とした生活力向上の為の支援 <教師育成事業> 奨学金事業及び研修会など	2016.1.1～ 12.31	4カ国 29校	6名	地域の住民及び子供生徒数： 1校平均100名程度＝ 合計 3000名 教師数：150名 奨学金：短大生30名 小中生50名 研修会：教師80名	187,024
交流事業	①現地建設校と日本の学校との教育関係者同志の交流、児童の作品交換などを通じての姉妹校提携推進 ②出前授業：福島県・福井県・静岡県・岡山県など28回。東京都内50回。合計78回(累計570回) ③東京フォーラム	2016.1.1～ 12.31 2016.1.1～ 12.31 2016.12.25	4カ国 115校 (日本80校) (海外35校) 各地域 ポプラ社	6名 10名 10名	現地1校当り 約100名 日本1校当り 約100～200名 各回：約100～150名 合計：約8,000名 教育関係者他：50名	12,661

別表―1

2016年度 建設校一覧

	国名	地域	学校名	備考
1	ベトナム	トゥエンクアン省	イエンラップ小/ダウカウ分校	エルセラーン
2			プービン小/バンホー分校	エルセラーン
3			フックソン小/ボーゴアン分校*	エルセラーン
4			フックソン小/バンビエン分校*	エルセラーン
5		タイグエン省	ホアアン小/ブクトラン分校*	エルセラーン
6			チャウミン小/ゴコン分校	森キミエ
7			ホアンバン小/リウガン分校	エルセラーン
8		チャビン省	フォンフーC小学校	アサヒ商会
9			タップガイC小学校	フォーサイト
10			アンフータン小学校	ディアーズ・ブレイン
11		ビエンホア市	グエンチータン小学校	ディアーズ・ブレイン
12	ラオス	サラワン県	ナボーン小学校	自民党・議員の会
13			パシア小学校	WANG/清水・宮澤
14			ノーコンソン小学校	谷川裕・敏子
15			ナードンボン小学校	横江友則・上西郁夫・ 宮内孝子・他
16			ドンニャイ中学高校	フォーサイト
17			ヴァンプーアイ中学高校*	フォーサイト
18			ノンサノー小学校*	千崎眞佐子
19			チャンバサック県	ボンドゥー小学校*
20		ファイナ中学校		金井昭雄
21		ロムサッタイ小学校*		エルセラーン
22		ナムサイロム小学校*		エルセラーン
23		ファイメサン小学校*		エルセラーン
24		タイ	チェンマイ県	ガラヤニワッタナ中学校・図書館他
25	バントウンヤオ小学校			明電舎
26	ファイパククッ小学校			近江兄弟社
27	ソップラン中学校*			フォーサイト
28	スリランカ	ゴール地区	セントアンズ小学校*	エルセラーン
29			ゲタマンナ小学校	エルセラーン

*は現在建設中（11校＝ベトナム3校＋ラオス6校＋タイ1校、スリランカ1校）

（尚、寄宿舎・井戸などの校舎以外の建設や、ソフト支援・交流支援もあること付言します。）